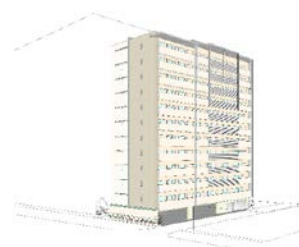


CASBEE[®] 新築[簡易版]

評価結果

■ 使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.6)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)大町東TKハイツ新築工事	階数	地上12F
建設地	大阪府堺市堺区大町東4丁13他3	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	77 人
気候区分	地域区分IV	年間使用時間	0 時間/年
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2014年5月 予定	評価の実施日	2013年2月1日
敷地面積	476 m ²	作成者	鳥巢 芳郎
建築面積	312 m ²	確認日	
延床面積	3,123 m ²	確認者	



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 0.7 ★★☆☆☆☆

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	96%
③上記+②以外の	96%
④上記+	96%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです。

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質 Q のスコア = 2.5

Q1 室内環境

Q1のスコア = 2.2

音環境	3.0
温熱環境	1.0
光・視環境	2.1
空気質環境	3.6

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 2.6

機能性	2.3
耐用性	2.6
対応性	3.2

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 2.8

生物環境	2.0
まちなみ	4.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性 LR のスコア = 2.8

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 2.9

建物の	3.0
自然エネ	2.5
設備システ	3.1
効率的	N.A.

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 2.6

水資源	2.2
非再生材料の	2.4
汚染物質	3.2

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 2.9

地球温暖化	3.1
地域環境	2.6
周辺環境	3.1

3 設計上の配慮事項		
総合 注) 設計における総合的なコンセプトを簡潔に記載してください。 街苑や植栽を出来る限り多く設け、自然と親しむ環境と地球環境負荷の軽減を同時に取り組んだ。	その他 注) 上記の6つのカテゴリ以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。	
Q1 室内環境 注) 「Q1 室内環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。出来る限り室内の間仕切壁を無くし、空気が循環するように努め、負荷軽減に配慮した。	Q2 サービス性能 注) 「Q2 サービス性能」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。ゆとりある階高、天井高とし、フレキシビリティ性の向上に配慮した。	Q3 室外環境(敷地内) 注) 「Q3 室外環境(敷地内)」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。出来る限り緑地を設け、周辺の住宅地に配慮した計画とした。
LR1 エネルギー 注) 「LR1 エネルギー」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。高効率な機器を採用し、エネルギーの削減を図った。	LR2 資源・マテリアル 注) 「LR2 資源・マテリアル」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。人体への健康や地球環境に配慮した材料を採用した。	LR3 敷地外環境 注) 「LR3 敷地外環境」に対する配慮事項を簡潔に記載してください。振動や光害への配慮を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■ 「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■ 評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



1. 建物概要	建物名称	(仮称)大町東TKハイツ新築工事	BEE	BEEランク
	建設地	堺市堺区大町東4丁目13他3筆	0.7	B-
	主用途/延床面積	集合住宅 / 3,122.76 m ²		

2. 重点項目への取組み		
重点項目	評価点	取組み度
CO ₂ 削減	3	
省エネ対策	3	
みどり・ヒートアイランド対策	2	
安全快適な暮らし	3	

3. 設計上の配慮事項とCASBEEのスコア				
CO ₂ 削減	評価項目		スコア	評価点
地球温暖化への配慮	CASBEE「LR3-1」のスコアによる評価値		3.1	3
省エネ対策	評価項目		スコア	評価点
外皮性能	CASBEE「Q1-2 2.1.3」のスコアによる評価値	建物全体	1.0	3
		住居・宿泊部分	1.0	
建物の熱負荷抑制	CASBEE「LR1-1」のスコアによる評価値		3.0	
自然エネルギーの利用	CASBEE「LR1-2」のスコアによる評価値		2.5	
設備システムの高効率化	CASBEE「LR1-3」のスコアによる評価値		3.1	
効率的運用(集合住宅は対象外)	CASBEE「LR1-4」のスコアによる評価値		対象外	
水資源保護	CASBEE「LR2-1」のスコアによる評価値		2.2	
みどり・ヒートアイランド対策	評価項目		スコア	評価点
生物環境の保全と創出	CASBEE「Q3-1」のスコアによる評価値		2.0	2
敷地内温熱環境の向上	CASBEE「Q3-3.2」のスコアによる評価値		2.0	
温熱環境悪化の改善	CASBEE「LR3-2.2」のスコアによる評価値		2.0	
安全快適な暮らし	評価項目		スコア	評価点
バリアフリー計画	CASBEE「Q2-1 1.1.3」のスコアによる評価値		4.0	3
耐震・免震	CASBEE「Q2-2 2.1」のスコアによる評価値		3.0	
地域性への配慮、快適性の向上	CASBEE「Q3-3 3.1」のスコアによる評価値		2.0	
交通負荷抑制	CASBEE「LR3-2 2.3.3」のスコアによる評価値		5.0	

4. その他	
技術の名称	考慮事項
特に配慮した事項	